

補助金評価シート(平成23年度実績分)

(1) 補助金事業の名称・位置づけ [Plan1]

事務事業コード	補助事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名	
961221	協働のまちづくり支援事業	まちづくり政策課	まちづくり係	一ノ瀬 元広	一ノ瀬 敏樹	
		一次評価年月日	平成 24 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2221	
補助金事業実施の根拠(位置づけ)	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0207	企画事務		
	第五次総合計画後期基本計画の 施策体系における位置づけ					
	章 (コード選択)	6章	参加と交流のまちづくり			
	節 (コード選択)	1節	協働のまちづくりの推進			
	項[基本施策] (コード選択)	2項	地域コミュニティの活性化			
	目[主な施策] (コード選択)	2目	地域活動への支援			
	関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
	補助金の期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 継続 (開始) H18 年度 ~ (終了予定) 年度				
	補助金の性質	<input type="checkbox"/> 事業費補助 <input type="checkbox"/> 団体運営費補助 <input type="checkbox"/> 大会運営費補助 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他()				
補助金の交付基準	<input type="checkbox"/> 法令 <input type="checkbox"/> 条例規則 <input type="checkbox"/> 要綱等 <input type="checkbox"/> 契約書 (規則等の名称:)					
補助金の算定方式	<input type="checkbox"/> 予算補助 <input type="checkbox"/> 決算補助 <input type="checkbox"/> 定率補助 <input type="checkbox"/> 定額補助					
補助金の財源内訳	<input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国・県補助あり (町 10 / 10) (県 / 10) (国 / 10)					

(2) 補助金事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(〜に対して)……この補助金事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

一部事務組合等 公益法人 企業や団体 個人

(交付団体名 : 町民により構成された地域活動を行う団体(隣組・町内会・区などの地域組織・企業・住民グループ・ボランティア団体・NPO等)であり、町内において公共的活動又は地域の活性化に資する活動を営む団体)

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

民間・地域からの発意と発想を生かし、地域の為になる公共的活動を積極的に展開させ、町・地域の活性化を図る。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 地域団体が行う活性化に繋がる事業に対して補助をする。
- 各事業の公共性を高めるため、審査前には各申請団体とヒアリングを行う。

(3) 補助金事業の実績 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)
①	指標名	事業採択団体数	15	16	18	0.89	18
	説明	地域活性化の為に事業を行った団体	目標値設定の根拠 支援金事業の周知・定着を図り、地域住民のまちづくりへの参画意識を向上させ、多くの団体に実施してもらう。				
②	指標名	事業予算額に対して採択した補助金の割合	65	93	95	0.98	95
	説明	事業の目的、効果をヒアリングによりしっかり把握し、各団体に公共性の高い事業実施をはたらきかけ、また予算の有効活用を図る	目標値設定の根拠 より多くの団体が支援金を有効に活用し、事業を実施することで、地域の活性化が図れる。				

(4) 交付額実績 / 計画の推移 [Do2]

		平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度									
事業費(円)		2,761,000			6,007,000			6,519,000			6,756,000									
補助率(町負担分)		0.0%			67.1%			57.8%			55.6%									
町交付額(一般財源)(円)		0			4,028,000			3,771,000			3,756,000									
財源内訳	特定財源																			
	国庫支出金																			
	県支出金																			
	地方債																			
	その他	2,761,000			1,979,000			2,748,000			3,000,000									
一般財源					4,028,000			3,771,000			3,756,000									
人件費の概算		(千円)																		
対前年比		%																		
		課長			課長補佐			係長			一般職員			延べ人数			年間人件費	年間人件費	年間人件費	
		H22	H23	H24	H22	H23	H24	H22	H23	H24	H22	H23	H24	H21	H22	H23	H24	/	/	/
町職員(正規職員)		0.01	0.01	0.01	0.14	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00	0.41	0.41	0.41	0.00	0.57	0.56	0.56	4,028	3,740	3,676
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっております。(人件費計算式)シート											0	0	0					

(5) 補助金の効果の評価 [Check]

必要性	町民のニーズ（団体の活動が町民に求められているか）	A	A 町民のニーズが大きい B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない	{理由}	地域活動を行う団体にとって重要な資金源であり、地域を活性化するために住民自ら地域を考えるよい機会となる。
	社会情勢上必要か	A	A 社会情勢からみて実施すべき事業である B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である	{理由}	町の施策として協働のまちづくりを掲げる以上は主要事業として今後も実施すべき事業である。
目的妥当性	この補助金は広く町民のためになっているか？	A	A 広く町民のためになっている B 特定の者に限定して利益がある	{理由}	地域住民が、自分たちにとって本当に必要な事業を自主的に行うことができる。
	この補助金の支出は、町が税金を投入して行うべき事業ですか	A	A 税金を投入して行う事業である B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある	{理由}	地域住民がまちづくりに参画するきっかけとなる。
有効性	事業の効果が具体的に把握できているか	A	A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる B 具体的な成果を示すことは困難である	{理由}	予算額に対して、補助金の交付額により成果を見ることができる。
	補助金を交付することで期待された成果は得られましたか	B	A 期待した以上の成果があった B 期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	{理由}	地域における住民の自主的な各種活動が活発化されている。
公平性	対象者すべてに補助金が交付されているか	A	A すべての対象者に交付されている B 一部の対象者に交付されている	{理由}	交付対象団体へは事業終了後、審査を実施した上で適正に交付している。
その他	これまでに見直し実績はあるか	A	A 今までに補助金について見直しを行った B 見直しを行っていない	{理由}	より積極的に事業を展開してもらうために補助金の限度額を10万円から50万円に上げた。
	補助金等の交付により町にどれだけメリットがあるか		住民主導による協働のまちづくりの推進		

(6) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

<今後の展開方針> (イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 増額する
 b 減額する
 c その他(隔年対応等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	24年度予算見積書への反映 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
ホームページ、広報たつのほたるねっと、新聞紙上において、住民に支援金事業を積極的にPRして、より多くの団体に支援金を活用していただく。	[反映内容] 補助金

(7) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
協働のまちづくりを推進している当町にあって、今後もこの事業の活用を図っていく。	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

➡ 上記 a ~ c を選択